

# WAKAYAMA AZALEA ROTARY CLUB



## Weekly Report

VOL. 14 No. 45 TOTAL 607 平成24年6月25日 第625回例会

[例会日] 毎週月曜日 12:30~13:30

[例会場] 和歌山市湊通り丁北2-1-2 アパローム紀の国

[事務局] 和歌山市雑賀屋町52 南方ビル2階(〒640-8249)

TEL073-435-3470/FAX073-435-3472

E-mail: wa-az-rc@naxnet.or.jp

会長/後和 信英 [会報委員] ○宮本 和彦  
副会長/西田美恵子 ○南方 孝一 田邊 和喜  
幹事/小形みちる 足立 聖子 松本 博



2011-12年度  
国際ロータリーのテーマ

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

Reach Within to Embrace Humanity

RI会長 カルヤン・パネルジー

2011-12年度  
アゼリアロータリーのテーマ

おもろ  
『ロータリーの原点を回想』

### 〈本日の例会〉

■ 第625回例会 6月25日(月)  
☆最終夜間例会 「一年を振り返って」  
会長 後和信英 会員 幹事 小形みちる 会員  
場所: ホテルアパローム紀の国11Fツインバード  
時間: 18:30 ~ 20:30

### 〈次回のお知らせ〉

■ 第626回例会 7月2日(月)  
☆バッジ引継ぎ  
☆会長・副会長(15周年記念実行委員長)  
幹事所信表明  
☆誕生会

### 〈前回の例会記録〉

■ ロータリーソング 茶摘み  
■ ゲスト紹介 社会福祉法人 日本ライトハウス 専務理事 橋本照夫様  
盲導犬 フローレン  
■ ビジター紹介 なし  
■ 出席報告 会員数35名 内出席免除2名  
本日の出席(6/18) 30/35名 85.71%  
前々回修正出席(6/4) 27/35名 77.14%  
■ メイクアップ 役員及びクラブ行事へ 2名

### 〈四つのテスト〉

言行はこれに照らしてから

I. 真実かどうか III. 好意と友情を深めるか  
II. みんなに公平か IV. みんなのためになるかどうか

### ●市内9ロータリークラブ例会情報

クラブ名	日時	内容
和歌山北	6月25日(月)	休会
和歌山	6月26日(火)	「最終夜間例会」
和歌山サンライズ	6月26日(火)	
和歌山東南	6月27日(水)	「最終親睦夜間例会」18:30~ルミエール華月殿
和歌山西	6月27日(水)	最終例会(家族会) 18:00~「あたらし屋」
和歌山東	6月28日(木)	最終夜間例会(18:30~)ダイワロイネットホテル4F
和歌山城南	6月28日(木)	会員卓話「1年を振り返り」廣田俊樹会長 最終例会
和歌山南	6月29日(金)	最終例会(夜間例会)ダイワロイネットホテル和歌山18:30~
和歌山中	6月30日(土)	最終家族例会マリーナシティーヨットクラブ2F

### ○ 会長報告



会長 後和信英

皆様、こんにちは、本日は、社会福祉法人日本ライトハウス 専務理事 橋本照夫様、ようこそお越しくださいました。後ほど盲導犬についての卓話よろしくお祈いします。川野年度からご支援させていただいておりました視覚障害者の為にご尽力して下さっており、頭が下がる思いです。盲導犬を育てることは、とても大変だとは思いますが、今も待っている方々の為に、どうぞ頑張ってくださいと思います。

さて私の年度も、次回6月25日の夜間例会で最終でございます。是非、ご出席して頂きたいと思ひます。

①社会奉仕委員会よりワンワン基金寄付の件(報告)  
ワンワン基金例会寄付 169,258円と、社会奉仕委員会から 30,742円の計20万円を日本ライトハウスへ送金する旨の報告あり。

②市内会長幹事会引継ぎの件(報告)  
小形幹事より、6月度(今年度最終)会長幹事会に現・新年度の会長幹事、事務局の計5名参加する旨の報告あり。

日時 ; 2012年6月20日(水) 18:00~

場所 ; ダイワロイネットホテル和歌山3F  
レストラン「サンクシェール」

会費 ; 一人 ¥7,000- (外部会議費より支出)

③本年度仮決算報告の件(報告)

石橋会員より、別紙の通り5月末締め会計報告あり。

④退会届けの件(審議)



石橋瑳禧子会員・西田美恵子会員の退会について、定款第12条第8節により、理事会で受理することを承認。

⑤「ダメ。ゼッタイ。薬物乱用。」企画広告（和歌山新報社）掲載の件（審議）

和歌山新報社の掲載（10,500円／税込）について、掲載することで決定。広報委員会より支出することと承認。

## ● 幹事報告



幹事 小形みちる

こんにちは。本日は日本ライトハウスの橋本様、そして盲導犬のフローレンちゃん、ようこそお越し頂きました。報告ですが、ガバナー月信6月号、ハイライト米山6月号を回覧いたします。また、本日例会終了後に次年度第2回クラブ協議会を別室にて開催しますので各役員委員の皆様は、残って頂きますようお願い致します。以上です。

## ● 委員会報告

### ◎親睦活動委員会

野村 伸会員



来週は最終夜間例会です。時間は18:30～ 場所はツインバード11階ですのでお間違えのない様にお越し下さい。また、食事のキャンセルの都合上、欠席のご連絡は金曜日までをお願い致します。

## ● 「ワンワン基金」贈呈式



社会福祉法人 日本ライトハウス

ワンワン基金 例会時寄付 169,258円、社会奉仕委員会 30,742円

寄付金合計200,000円を贈呈しました。

## ● 外部卓話

### 「盲導犬について」



社会福祉法人 日本ライトハウス

専務理事 橋本照夫 様

日本で「盲導犬」の訓練が始まったから、半世紀近くになります。この間、多くの方から支援を受け、全国で1千数百頭の盲導犬が世に送り出され、現在約1067頭の盲導犬が活躍中です。ちなみに和歌山県では8頭が現在稼働しています。日本ライトハウスでも、昭和47年に盲導犬育成事業を開始し、この3月には601頭目の盲導犬を視覚障害者の方に提供し、190頭の盲導犬が現在活躍しています。

当初は、公共交通機関はもちろん、ホテルやレストランを利用できることは稀でしたが、今日では身体障害者補助犬法も施行され一般社会の理解も深まり、盲導犬およびその使用者の社会参加もスムーズに行えるようになり、関係者一同非常に喜んでいるところです。

視覚障害者にとって一番困難なことは、私達健常者にとってはごく当たり前のこと — 行きたい時に、行きたい所へ移動することです。視覚障害者が単独で歩行する手段には、(1)白杖での歩行 (2)手引きによる歩行 (3)盲導犬による歩行、の3つの方法が有効なものとしてあります。白杖による単独歩行は、歩行者自身が周りの状況を杖と音を頼りに歩くため、大変な精神的負担がかかります。また、手引きを依頼した場合には、周りの状況も伝えてもらいながら、安心して歩くことが出来ます。しかし、これにも欠点もあります。出かける時には、事前に手引きする人を依頼しなければなりませんし、プライ



バシーは守りにくくなります。その点、盲導犬は利用者本人が犬が好きでないと取得出来ませんが、取得するとプライバシーは守られ、精神的負担はかなり軽減されることとなります。また、通勤などに利用するには大変有効なものです。また、盲導犬はただ単に歩行手段の一つとしての位置づけだけでなく、盲導犬を持つことで社会参加がより身近になり、ご主人（盲導犬利用者）の気持ちも明るくなること  
が知られており、良きパートナーとの歩行は、そばで見ていても微笑ましくなるほどです。

全国に31万人以上いる視覚障害者に対し、すべての人が盲導犬を希望するとは限らないまでも、いまだに1067頭の頭数です。充分に行き渡るにはほど遠い数となっています。我々の推計では少なくとも2000頭前後の盲導犬が常に稼働している状態を保たなければ、視覚障害の方々のニーズに対応しているとは言えないと考えています。

現在、盲導犬貸与制度については全国の大多数の自治体が社会参加促進事業として位置づけており、当センターでも毎年1頭でも多く育てることを念頭に事業を実施しております。しかしながらその一方で、各自治体、諸団体より受ける盲導犬育成委託は、その数を増やせば増やすほど、1頭あたりの赤字を増やしているという矛盾も抱えております。

具体的には、盲導犬一頭あたりの実作出費用には約400万円を必要としますが、各自治体の委託事業単価は約200万円を受けており、一頭の盲導犬を作るごとに200万円の赤字を計上せざるを得ないのです。この赤字に対しては法人全体から繰入金として赤字補填しているのが実状であり、毎年の繰入金はそのつど篤志家および一般の方々のさまざまなご寄付の積み重ねを充当し、捻出している次第です。

なにとぞ盲導犬育成事業のこのような現状をご理解、ご賢察いただき、盲導犬が来るのを待ち望んでいる視覚障害者のために、ご支援をいただければ幸いです。

## ごそんじですか？盲導犬

社会福祉法人 日本ライトハウス

### 盲導犬って・・・

盲導犬とは、目の不自由な方の『目』の代わりにしながら共に歩く『犬』のことです。

2002年10月に施行された『身体障害者補助犬法』では『盲導犬とは、道路交通法で定める盲導犬であって、国家公安委員会が指定した法人から認定を受けている犬が、視覚障害者と共にハーネスを付けているとき』と規定されています。

現在日本には、およそ30万人の視覚障害者がいます。その中で、歩くことに不安を感じ、家の中だけで生活している人も少なくありません。そのような不安感や恐怖心を少しでも解消するように『盲導犬』がお手伝いします。



用事がすむまで待っているよ



日本に初めて紹介されたのは、1938（昭和13）年に盲導犬をともなってアメリカ人青年が旅行の途中に立ち寄ったのが最初と言われています。その後1949（昭和24）年から日本でも研究が始まり、1957（昭和32）年第1号が誕生しました。

現在、日本の訓練施設は10施設が設置し、全国で活躍している盲導犬も1,090頭になっています。

ここから階段ですよ

### 育つまでには・・・

厳選された親犬から生まれた仔犬は、生後50日でパピーウォーカーと呼ばれるボランティアの家庭に預けられ、そこで1歳になるまで育てられます。この期間に仔犬は、人間の社会の家庭内でのいろいろな体験を積み、人との係りや交通事情などを学びます。また、一番大切な『人に対する信頼感』も持つようになります。

生後1年を迎えた犬は施設に戻り、6～12か月間盲導犬になるための訓練を受けます。訓練では、障害物を回避することをはじめ住宅他や繁華街・交通機関やエスカレーター・エレベーター、買い物やレストランの利用などさまざまな場面を体験し、盲導犬としてふさわしい行動がとれるようにします。

ハーネス（犬の動作を知るための白い胴輪）を付けることにより、盲導犬として『仕事中』という認識を持ちます。



生まれた仔犬を世話する母犬  
元気に育ちますように



社会に貢献している動物はさまざまありますが、多くは使用者も専門家です。盲導犬の場合、その使用者が専門家ではありません。目の不自由な方にとつて安全で快適な生活を提供し、24時間生活を共にするので、そのため訓練には多くの時間を費やします。

### 使用者を迎えて・・・

訓練を終えた犬は、使用者を迎えることとなります。盲導犬を取得する人は約1か月間、訓練施設で犬と生活を共にしながら『盲導犬を使って歩く』ことの指導を受けます。これを共同訓練と呼んでいます。この期間に犬に対する指示の方法・食事の与え方・排泄のさせ方・手入

れの方法等の指導を受けます。しかし最も大切なことは、人と犬との信頼関係を築き上げていくことです。そして共同訓練終了後は、それぞれの地域でスムーズな生活ができるように、指導員が同行し職場や日常利用する場所での現地訓練を行います。



困ったことは・・・

使用者と盲導犬の間も2～3年たてば素晴らしい関係になりますが、はじめのうちは慣れないためそうはいきません。そんな時、他の人に声をかけられたり触られると、注意がその人に向いてしまいます。大好きの人であればなおさらです。ですから、見かけた時はそっと見守ってください。もし、道に迷っているような様子の時は、使用者の方へ声をかけてくだされば助かります。



これは障害物、よけるのよ

また、食べ物とは与えないでください。毎日決まった時間に決まった食事を与えています。健康管理の面でも、食事は最も気を使っていることのひとつです。

それから、放し飼いのペットで苦労した経験も少なくありません。みなさんがそのような場面に会ったら、使用者にちょっと教えてあげてください。



ユーザーさんといっしょに



訓練にでかけてきます!

取り巻く現状は・・・

身体障害者補助犬法において『国、地方公共団体、公共交通機関、飲食店、宿泊施設等不特定多数の者が利用する施設の管理者等は、その管理をする施設等を身体障害者が利用する場合、盲導犬を同伴することを拒んではならない。』と明記され、盲導犬使用者は安心して盲導犬をともなって外出できるようになりました。しかし、使用者から『レストランに入ろうとして断られた』とか、ホテルで『犬はどうも・・・』といった声をまだまだ聞くことがあるのも事実です。目の不自由な方にとって、盲導犬は単なる『ペット』ではありません。

私たちはどんな場所でも盲導犬を受け入れられるような社会になることを願っています。

また、訓練施設に対するの援助制度もありません。1頭でも多くの盲導犬を育てたいという目標は、片方で施設運営を難しくするといった矛盾をもたらすこととなります。

少ない紙面ですべてを言い尽くすことはできませんが、目の不自由な方と盲導犬が広く社会参加できますよう、今後とも皆様の暖かいご協力とご支援をお願い申し上げます。



いつも仲よし  
笑顔いっぱいの盲導犬とユーザー

お問い合わせ

社会福祉法人 日本ライトハウス 視覚障害リハビリテーションセンター  
〒538-0042 大阪市鶴見区今津中2丁目4番37号  
TEL 06-6961-5521 FAX 06-6968-2059  
URL <http://www.lighthouse.or.jp/>

盲導犬訓練所

〒585-0055 大阪府南河内郡早赤阪村東阪1202  
TEL 0721-72-0914 FAX 0721-72-0916



次年度第2回クラブ協議会(次年度各委員会事業計画発表)

例会終了後 13:40～14:40



S・A・A 報告 【3つの箱】

\*ニコニコ箱

掛下吉三会員 例会終了後の次年度第2回クラブ協議会、よろしくお願ひ致します。

後和信英会員 本日は、日本ライトハウス専務理事の橋本照夫様、そして盲導犬のフローレンさん、ようこそお越し頂きました。本日は、よろしくお願ひ致します。

小形みちる会員 本日は日本ライトハウス専務理事橋本様、そして盲導犬のフローレンちゃん、ようこそおいで頂きました。この後の卓話よろしくお願ひ致します。

本日合計額 6,000円 今年度累計額 1,232,000円

\*ロータリー財団

掛下吉三会員 本日合計額 1,000円

\*米山奨学

掛下吉三会員 本日合計額 1,000円